

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館
指定管理者名	公益財団法人 相模原市産業振興財団
指定期間	令和元年度から令和5年度まで
施設設置条例	相模原市立産業会館条例
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること（相模原市立産業会館条例第2条）
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積1,369.30㎡ 建築面積1,038.20㎡ 延床面積4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 特別会議室（国際商談室）、懇談室（中研修室） 地下1階 OA研修室、多目的室
施設所管課	産業支援課

## 2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	103,370	98,915	83,111	30,508	51,051	70,641	
利用料金合計（円）	22,619,349	23,426,749	18,406,126	12,052,942	15,313,461	20,221,803	

## 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	評価基準に従い数値上はB評価とせざるを得ないが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中で、利用率を改善できたことは高く評価できる。

### 指標1

指標名（単位）	産業会館施設利用率
指標式と指標の説明	利用率 = 利用日（区分）数 / 利用可能日（区分）数 1日3区分（午前・午後・夜間）で数値は区分で算出 ※施設休止期間は含まない

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）	42.5%	43.0%	43.5%	44.0%	44.5%	45.0%	45.5%
実績値（単位）	44.1%	46.0%	42.3%	40.1%	38.5%	41.1%	
達成度（%）	103.8%	107.0%	97.2%	91.1%	86.5%	91.3%	

#### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	利用者ニーズに合わせた機器提供による利用促進、施設の快適性や機能性向上に寄与する利益還元、産業に関する情報の発信、産業会館の設置目的に即した自主事業を積極的に展開しており高く評価できる。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
リモート会議の補助機器提供による会館利用促進事業	随時	リモート会議に対応したスピーカー・マイク・プロジェクター等の提供 3団体10回	◎
来館者へ向けたモニターでの情報提供事業	通年	ロビーに設置したモニターで相模原市のPRを動画で、財団・産業会館のイベント・事業案内をパワーポイントで会館時間中情報提供を行った。 動画4本、パワーポイント7本	◎
利益還元による施設快適化事業	随時	経年劣化による汚損の解消や機能性の向上を目的として、次の事業を実施した。 ・タイルカーペット張替（ホール・展示室） ・軽量机等への更新（主にホール・展示室）	◎

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
OA研修室活用事業（無料PC教室）	通年	・小学校でのプログラミング教育の実施を踏まえ、プログラミング的思考への一助となることを目的に、幼児から小中学生を中心として幅広い年齢層に対応した講座を用意した。開催講座数105 ①スマホ体験（新規） 29人 ②プログラミングプレ体験教室（年中～小学2年）16人 ③プログラミング教室（小学3年～中学）47人 ④パソコン体験教室 77人	◎
イベント・コンベンション等産業事業振興利用促進事業	通年	・企業等のイベント・コンベンション利用等の促進のため全館利用のパッケージ料金を設定し、HP、チラシに掲載し、継続して利用促進を図った。 利用件数：4件	○
市民文化活動推進事業	通年	・幼稚園等の演芸会、音楽・舞踏の発表会など音を出す利用区分として、多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金を設定し、利用者サービスの向上や利用の促進を図った。 利用件数：1件	○

トライアル発注認定製品展示事業	通年	<p>・相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、1階ロビーの壁面に掲示したシートに代え、モニターを設置して、令和2年度17製品、令和3年度7製品をパワーポイントで紹介、令和4年度9製品は動画で紹介と合わせて、カタログをラックに配架して周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。</p>	◎
財団事業の会館活用事業	通年	<p>・産業振興財団が主催する「コミュニティビジネス推進事業」（9回）、「産業人材の確保・育成事業」（2回）、「国際化支援事業」・「事業承継セミナー」・「SOHO支援事業」（各1回）、を実施することで、利用機会の提供と産業支援・振興の情報、学習機会の提供を進めた。</p>	◎
自動販売機活用事業	通年	<p>・館内に設置する自動販売機の売上による手数料収入を得た。 設置数 5社5台 手数料総額 462千円</p>	◎
産業会館利用促進事業	随時、通年	<p>・産業会館まつり（プログラミングコンテストと親子プログラミング教室）を8月20・21日に開催し、市民周知、利用促進に務めた。 参加者はコンテスト134名、教室41組97名。 ・1階ロビー壁面部分にモニターによる情報提供や映像に関連するパンフレット等を配架した新規情報コーナーを設置し、相模原市、当財団や産業会館などの情報提供、利用促進を行った。</p>	◎

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	これまでの実績と同じく満足度は極めて高く、サービスレベルが十分に維持されていると評価できる。今後も、サンプル数を増やす等により、より多くの利用者の意見を取り入れ、満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施 ※施設利用団体ごとのアンケート 時期：令和4年10月1日～31日 サンプル数：56件
目標値の基準	「お客さまアンケート」の満足度等経年比較を行う項目の内施設全体的な満足度を問う設問（7項目）について、肯定的評価数を総サンプル数－無回答等で除した値（％）で算出 * 目標値は令和2年度から設定

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）				98.0%	98.5%	99.0%	99.0%
実績値（％）			97.5%	98.7%	98.4%	99.5%	
達成度（％）				100.7%	99.9%	100.5%	

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	受付窓口と全室に「お客さまの声」を記入する用紙と投函ボックスを設け、いつでも意見要望を受け付け、必要な対策を講じる体制を採っている。
パソコン教室アンケート	随時	無料PC教室では参加者アンケートを実施し、参加者の属性、受講目的等の項目を設け、利用者ニーズ、要望等を吸上げ、満足度の向上に活用している。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	決算において収入が支出を上回っているが、公認会計士である選考委員の意見として、団体本体の営業利益・営業利益率が継続的なマイナスになっていないかどうか次年度以降注視する必要があり、若干の懸念が報告されていることを踏まえ、A評価とした。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		93,619	91,348	97,983	
	指定管理料	68,507	67,481	67,554	
	利用料金収入	12,053	15,313	20,221	
	その他の収入	13,059	8,554	10,208	
支出 (b)		83,428	85,730	97,061	
	人件費	18,578	19,848	20,234	
	本社管理経費	0	0	0	
	その他の支出	64,850	65,882	76,827	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		10,191	5,618	922	
自主事業収入 (d)		240	328	462	
自主事業支出 (e)		117	208	259	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		123	120	203	
全体収支 【(c)+(f)】		10,314	5,738	1,125	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和5年3月31日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	現在アクセシビリティ対応を含めたWebページの修正委託を検討中

## 9 指定管理者の自己評価

コロナの感染拡大防止対策を含め、管理業務については、お客さまアンケートの満足度で目標値を超えた良い評価を得ており、通常業務でも確実、的確な対応がとれていると考えている。令和4年度から現在の指定管理期間での利益還元の事業として、軽量机等の備品更新とホール・展示室のタイルカーペットの張替交換修繕を実施し、施設の快適化を図った。また、展示室等の照明のLED化について令和5年度で予算化した。自主事業では、IT人材の育成支援に通じる機会のひとつとしてプログラミングコンテストや親子プログラミング教室を開催し、参加者に会館パンフレットを配布するなど産業会館の一般市民への周知等が進んだと評価している。

## 10 所管課意見

新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中、施設に求められる感染防止対策を十分に行い、また、利用者ニーズを汲み取った企画提案事業を行い利用促進を図るなど積極的に施設管理運営に取り組んだことは高く評価できる。また、成果指標である施設利用率についても改善が見られるが、これまでの利用実績やお客さまアンケートを分析するなどによって、施設に係る需要を的確に捉えたより一層の利用促進を図っていただきたい。

## 11 選考委員会意見

- ・コロナ禍の影響の残る中、利用率が改善してきたことは評価でき、喜ばしい。リモート会議への対応、PRモニタの設置など現代にあった施設改善、利益還元による、タイルカーペットの張替えや軽量机への更新も評価できる。全館利用のパッケージ価格の利用者も2件から4件と倍増しており評価できる。また、無料PC教室やその他の自主事業も順調で高評価となっていることが素晴らしい。
- ・地元産業の高度化やDX化に資する自主事業を充実させると良いかと思う。例えば、e-shopの開設講座や、チーム作業を効率化させたり、DXを促進したりするGoogle Workspaceの講座などである。
- ・お客さまアンケートで、知った理由の殆どが「引き継ぎで以前から知っている」となっている。これは新規利用者が少ないと思われる。これからは、新規の利用者の開拓も重点的に必要であろう。また、アンケートに関連して、予約システムの改善が望まれるが、本年度、更新されることから、期待したい。
- ・お客さまアンケートの状況から、施設を知った理由は約7割が引継ぎや知人の紹介で、定期的な利用が大半を占めているので、新規利用開拓のため、施設の周知に新たに取り組むことが必要ではないでしょうか。類似施設利用者をターゲットとしたPRも有効と思われます。
- ・ウェブアクセシビリティについて、「文字の大きさを可変に」、「画像に代替テキスト」の2点が残っている。この指標は行政のHPでは最低限守らなければならない事項なので、公的施設のHPとしては至急対処されたい。
- ・請け負っている公益財団法人との間で、シナジー効果を生む事業が少ない。外国人受け入れセミナーや国際化セミナーなどもこの会館での実施が一案であろう。また、民間企業の利用が少なく、民間企業の定期的利用などを促進することが望まれる。

